

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公開番号】特開2008-7614(P2008-7614A)

【公開日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-002

【出願番号】特願2006-179003(P2006-179003)

【国際特許分類】

C 0 8 L 77/00 (2006.01)

C 0 8 L 71/02 (2006.01)

C 0 8 K 5/3492 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 77/00

C 0 8 L 71/02

C 0 8 K 5/3492

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月19日(2009.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

メラミンシアヌレート (B) の含有量が 11 質量%以上 20 質量%以下である難燃性ポリアミド樹脂組成物の製造方法であって、融点が 255 度以上 350 度以下のポリアミド樹脂 (I) と、融点が 180 度以上 250 度以下のポリアミド樹脂 (A) に対しメラミンシアヌレート (B) とポリアルキレン多価アルコールまたはその脂肪酸エステルから選ばれた少なくとも 1 種の界面活性剤 (C) からなるポリアミド樹脂複合物 (II) を溶融混練することを特徴とする難燃性ポリアミド樹脂組成物の製造方法。

【請求項 2】

樹脂複合物 (II) 中のメラミンシアヌレート (B) の含有量が 30 質量%以上 45 質量%以下である請求項 1 に記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物の製造方法。

【請求項 3】

樹脂組成物中の界面活性剤 (C) の含有量が 0.25 質量%以上 2.0 質量%以下である請求項 1 または 2 に記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物の製造方法。

【請求項 4】

界面活性剤 (C) が、ポリアルキレングリコールと脂肪族カルボン酸とのエステル誘導体である請求項 1 から 3 のいずれかに記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物の製造方法。

【請求項 5】

界面活性剤の含有量 [C] とメラミンシアヌレートの含有量 [B] の比 ($[C] / [B]$) が $0.025 < [C] / [B] < 0.1$ であることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物の製造方法。

【請求項 6】

ポリアミド樹脂 (A) が、ポリアミド 6、ポリアミド 6 I あるいはポリアミド 6、ポリアミド 6 6、ポリアミド 6 C、ポリアミド 6 10、ポリアミド 6 12、ポリアミド 6 I のうち少なくとも 2 種類の異なるポリアミド成分を含むポリアミド共重合体から選ばれたものであることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれかに記載のポリアミド樹脂組成物の製造

方法。

【請求項 7】

請求項 1 から 6 のいずれかに記載の製造方法により製造される難燃性ポリアミド樹脂組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(4) 界面活性剤 (C) が、ポリアルキレングリコールと脂肪族カルボン酸とのエステル誘導体である上記 (1) から (3) のいずれかに記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物の製造方法、

(5) 界面活性剤の含有量 [C] とメラミンシアヌレート含有量 [B] の比 ($[C] / [B]$) が $0.025 < [C] / [B] < 0.1$ であることを特徴とする上記 (1) から (4) のいずれかに記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物の製造方法、

(6) ポリアミド樹脂 (A) が、ポリアミド 6、ポリアミド 6 I あるいはポリアミド 6、ポリアミド 6 6、ポリアミド 6 C、ポリアミド 6 10、ポリアミド 6 12、ポリアミド 6 I のうち少なくとも 2 種類の異なるポリアミド成分を含むポリアミド共重合体から選ばれたものであることを特徴とする上記 (1) から (5) のいずれかに記載のポリアミド樹脂組成物の製造方法、

(7) 上記 (1) から (6) のいずれかに記載の製造方法により製造される難燃性ポリアミド樹脂組成物、である。